

学校だより



はと広場

教育目標 進んで学び 高め合う 北小の子
あかるく なかよく すこやかに

2月号 令和8年1月30日 NO.10

さいたま市立北浦和小学校

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和2丁目18-3

電話 048-831-2463 FAX 048-835-1352

【児童数】 820名 【学級数】 29学級

共創・共奏 ～安心・安全な学校～ 校長 引間 陽子

入学、進学、進級の季節が近づき、24日（土）には新入学する皆さんを『ハッピースタート』にお招きし、1年生が小学校の勉強を紹介しました。いよいよだなと思う瞬間となりました。

さて、本校では、学校の取組の柱の一つとして「安心・安全」を大事にしています。これは教育活動の土台になるものです。具体的な内容は、次の8つになります。
①「児童生徒の心のサポート」「緊急対応」「いじめ対応」「欠席児童への対応」
②安全指導（交通安全・不審者対応等）
③給食指導（食育）・アレルギー対応
④保健管理・保健指導
⑤安全管理（点検と修繕）
⑥教職員事故の防止
⑦情報管理・セキュリティ管理
⑧適切な感染症拡大防止対策と柔軟な運営
どれをとっても侮れない大事な取組で、子どもたちが安心・安全な生活を感じ、安全に登校し、安全に家庭に帰るということを何よりも大切にしていきたいものです。例えば、学校では、基本的な安全指導の一つとして、各種の実践的避難訓練を実施します。先生方も子どもたちも、正しい知識と心構えを得ると同時に、いざという時の冷静な判断力や行動力を備えるために実施するもの。誰もが自分事として取り組むことが大事です。先日は竜巻対応訓練を実施し、子どもたちは、命を守るために真剣に行動ができたこと、お互い協力し合ったこと等、確実に避難ができたという成果がありました。一人ひとりが安全に行動できるように、日々、安全指導や注意喚起を行っていますが、何より、自分事として覚知できるよう、具体的な例を挙げながら、繰り返しの指導が必要です。校内には安心・安全にかかる掲示や表示により啓発もしていますが、怪我の起きた状況を分析すると、防げた事案も少なくありません。怪我の大小に関わらず、怪我が起きないよう「気遣う」行動と相手を「気遣う」優しさをもっともっと身に付けさせたいと感じます。見直しを図りながら、どの学年でもどの場面でも、温度差なくしっかりと指導してまいります。

また、さいたま市の取組の一つにコミュニティ・スクールがあります。学校、家庭、そして地域が一体となって子どもたちの健全育成に全力を尽くすとともに、学校を中心としたラーニング・コミュニティづくりへの貢献が期待されています。本校も今年度、この運営を司る学校運営協議会を第1回、第2回と開催し、委員の皆様からの御意見を頂戴しております。本校のテーマは「防災教育」です。既に行っている地域や学校の行事は財産である。その行事をコミュニティ・スクールという視点から改めて価値付けていくのがよい。小中の連携もさらに強めよう。地域にあるものを知ったり体験したりする機会を作ろう。ボランティア活動で挨拶やコミュニケーションが広がることが期待できる。異世代や多様な人とのかかわりを創出していくことがよい。など、防災に係る視点の貴重な御意見をいただきました。共創（多様な立場のステークホルダーと対話しながら、ともに新しい価値を生み出していく考え方）、共奏（共に奏でるつながりを育むコミュニティ）という言葉があります。そんな言葉に象徴されるような素敵な学校を育みます。

最後に、冬の寒い朝、毎日毎日、通学路に立ってくださっている防犯ボランティアの方から本校の児童が挨拶してくれて嬉しかったという話を頂戴しました。心がポカポカ温かくなりました。ありがとうございます。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、御協力、御支援をよろしくお願ひいたします。

